## **Taguchi Methods Manager Course** のお勧め



- Taguchi Methodsを導入するキッカケを作りたい
- Taguchi Methodsの概要を短期間に理解したい
- 部下の報告書が理解でき、Taguchi Methodsの 考え方を活用した的確な指示・経営判断をしたい

半日コース = 導入のキッカケ作りと導入判断ができます 1日コース = **Taguchi Methods**の概要が理解できます 2日コース = 部下の仕事の結果に基づいて的確な指示, 経営判断をするのに必要な知識・考え方が 理解できます

## カリキュラムの例

品質工学の主な内容一覧 パラメータ設計とは 理想機能 良い設計・技術開発をするには 良い設計をするための実験の仕方 技術レベルの評価方法 直交表の性質 直交表とその使い方 調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性の種類 動特性の種類 では、と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性の所方 メータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法 26段階設計法の究極的活用方法	内容	2日間	1日間	半日
理想機能 良い設計をするための実験の仕方 技術レベルの評価方法 直交表の性質 直交表とその使い方 調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性のアラメータ設計の手順 ブリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	品質工学の主な内容一覧 			
良い設計・技術開発をするには 良い設計をするための実験の仕方 技術レベルの評価方法 直交表の性質 直交表とその使い方 調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性の種類 動特性SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性のバラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	パラメータ設計とは			
良い設計をするための実験の仕方 技術レベルの評価方法 直交表の性質 直交表とその使い方 調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比と感度S 静特性ののパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	理想機能			
技術レベルの評価方法 直交表の性質 直交表とその使い方 調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性 SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比と 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	良い設計・技術開発をするには			
直交表の性質 直交表とその使い方 調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	良い設計をするための実験の仕方			
直交表とその使い方 調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性 SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性のに関係方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	技術レベルの評価方法			
調合誤差因子とは 技術開発と競争 動特性の種類 動特性 SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性のアラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	直交表の性質			
技術開発と競争 動特性の種類 動特性 SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	直交表とその使い方			
動特性の種類 動特性 SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	調合誤差因子とは			
動特性 SN比 と感度Sの求め方 パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	技術開発と競争			
パラメータ設計の手順 補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	動特性の種類			
補助表と要因効果図 工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	動特性 SN比 と感度Sの求め方			
工程平均の推定方法 確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	パラメータ設計の手順			
確認実験について 転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	補助表と要因効果図			
転写性による難削材の切削技術開発 < 動特性:事例紹介 > 技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 と感度S 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	工程平均の推定方法			
技術開発の手順 商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	確認実験について			
商品開発のためのパラメータ設計 静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	転写性による難削材の切削技術開発<動特性:事例紹介>			
静特性とは パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	技術開発の手順			
パラメータ設計の考え方 静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	商品開発のためのパラメータ設計			
静特性のSN比 と感度S 静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	静特性とは			
静特性のSN比 静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	パラメータ設計の考え方			
静特性の実験方法 静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	静特性のSN比 と感度S			
静特性のパラメータ設計の手順 プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	静特性のSN比			
プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 > 機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	静特性の実験方法			
機能窓法 2段階設計法の究極的活用方法	静特性のパラメータ設計の手順			
2段階設計法の究極的活用方法	プリヒートタイマのタイマ時間の最適設計 < 静特性:事例紹介 >			
2段階級計法の突極的活用方法 実際の進め方	2段階設計法の究極的活用方法			
	2段階設計法の究極的活用方法 実際の進め方			

ぜひ一度ご相談ください. 貴社の目的に応じて,最適なカリキュラムで実施させて頂きます

## ITEQ International

Institute of Technology, Engineering and Quality 有限会社アイテックインターナショナル

連絡先

〒462-0844 名古屋市北区清水3丁目8番5号 URL http://www.iteq.co.jp/ 第1事業部 TEL:052-917-0711 FAX:052-917-0712